

第72回全日本体操団体選手権 大会要項
 2018男子個人総合スーパーファイナル
 2019個人総合W-CUP シリーズ男子日本代表決定競技会

差替2018/10/20

主催：(公財)日本体操協会 主管：群馬県体操協会
 後援：高崎市・(公財)高崎財団・(一財)上月財団
 協賛：テーブルマーク・日本航空・三菱地所・明治・朝日生命・ミズノ
 セイコーホールディングス・シミズオクト・セノー・東武トップツアーズ

1. 期 日 平成30年11月21日(水)～25日(日)

11月21日(水)	会場設営 会場練習(男子スーパーファイナル出場者・女子サブのみ)
11月22日(木)	会場練習/報道公開/記者会見
11月23日(金)	会場練習/男子スーパーファイナル監督会議・審判会議/女子監督会議/開会式/男子個人総合スーパーファイナル/代表発表 ※TV中継 19:00～20:55 BS日テレ
11月24日(土)	会場練習/女子審判会議/女子団体決勝/表彰式/男子監督会議 ※TV中継 15:00～16:54 BS日テレ
11月25日(日)	男子審判会議/男子団体決勝/表彰式・ファンサービスイベント ※TV中継 15:00～16:54 BS日テレ

2. 会 場 高崎アリーナ

〒370-0846 群馬県高崎市下和田町4-1-18 TEL 027-329-5447(代表)

3. 参加資格と条件

(1) 男子団体

1) 参加条件

①年齢制限は、中学3年生以上とします。

2) 出場資格

①団体チーム出場は「別表1・通過基準」に該当することとします。

②チーム補欠としての登録選手は2名までとします。

<別表1・男子通過基準>

2018年度開催の下記大会の成績により出場権を与える。

男 子		
大会 杯	インターハイ	2チーム
	全日本ジュニア選手権(1部)	1チーム
	「全日本学生選手権(1部・2部)」、「全日本シニア選手権(1部)」 上記2大会における得点順に並べ上位12チーム※	12チーム
ジュニア 選抜杯	ジュニアナショナル選手を対象とする選抜チーム	1チーム
	計	16チーム

※インカレとシニアの得点を並べるために、大会成績とは別に6-4での通過順位を決定する

(2) 女子団体

1) 参加条件

①年齢制限は12歳以上(2018年12月31日までに達する者)とします。

2) 出場資格

①団体チーム出場は「別表2・通過基準」に該当することとします。

②チーム補欠としての登録選手は2名までとします。

<別表2・女子通過基準>

2018年度開催の下記大会の成績により出場権を与えます。

女 子		
大会 枠	全日本ジュニア選手権(1部)	7チーム
	全日本学生選手権団体選手権(1部・2部)	7チーム
	全日本シニア選手権(1部)	2チーム
	計	16チーム

3) 個人総合スーパーファイナル

男 子	NHK 杯順位上位12名および男子強化本部長推薦選手	12名(+) α
-----	----------------------------	-----------------

(3) 注意事項 ※平成30年度の選手登録を済ませた者とします。

1) 18歳未満(大会時)の参加者は、ドーピング・コントロールに関する同意書を提出して下さい。

2) 団体選手権への外国籍選手の出場はチーム1名までとします。(短期ビザではない滞在証明書の写しを提出して下さい。)

4. 競技に関する注意事項

(1) 採点規則

男子は2017年版採点規則および男子体操競技情報最新号までを適用します。

女子は2017年版採点規則および女子体操競技情報最新号までを適用します。

(2) 競技規則(2018年版FIG競技規則に準ずる)

1) 団体決勝

①各組2チームずつ編成し、1名ずつ交互に演技を行うFIG決勝方式とします。

②男女とも6名の選手の内、3名が演技を行い、その合計得点を得点とします。

③オーダーおよび補欠選手との交代の提出は、女子は11月23日、男子は11月24日までに行ってください。

④演技を行う選手の申告は、各ローテーション開始の挨拶を行う際に、変更の有無にかかわらず、D1 審判に行ってください。

⑤班編制

男子

II班は、全日本シニア選手権と全日本学生選手権の得点を並べて上位8チームで成績順に当てはめます。I班は全日本シニア選手権得点と全日本学生選手権大会の得点を並べて下位4チームで成績順に編制します。ジュニアチームは上記チームの種目に続けて当てはめ、ジュニア選抜チームはI班跳馬後半グループに編制しオープン参加とします。

女子

女子は、全日本学生選手権と全日本ジュニア選手権の上位各3チームと全日本シニア選手権の上位1チームをII班に、全日本学生選手権と全日本ジュニア選手権の4位チームを抽選しI班とII班に、他のチームはI班に、抽選して編成します。

2) 個人総合スーパーファイナル

NHK 杯順位の上位6名を1組(ゆか)に、続く6名を2組(あん馬)に編成し、演技順は、各組とも最上位者が最終種目で最終演技者となります。

3) 器械器具について

- ①本大会はポディウム上に器械器具を設置します。セノー社製（2018製品カタログ版）を使用します。
- ②サブ会場（9種目ゆか男・女共用）を設営します。

4) 跳躍板について

- ①「跳馬」はハードタイプ（3-3-2）・ソフトタイプ（3-1-2）を使用します。
(注)ハネの取り外しはできません
- ②「平行棒」、「段違い平行棒」、「平均台」については、ソフトタイプを使用します。

5) 女子ゆかの音楽について

伴奏曲はCDで、1枚につき1曲のみとし、通常の再生機器で再生できるものを大会用として準備下さい。

5. 表彰

- (1) 男女優勝チームには優勝杯を授与します。
- (2) 1位～3位にメダル（決勝の正選手6名）と賞状を、4～6位には賞状を授与します。
- (3) 同点は同順位として表彰します。

6. 2019個人総合W-CUP シリーズ男子日本代表について

- (1) 派遣対象大会
2019 WCアメリカ・WCドイツ・WCイギリス・WC日本
- (2) 2018個人総合スーパーファイナル上位選手を派遣する
1位2試合・2位/3位1試合
- (3) 2018世界選手権個人総合メダリストはスーパーファイナル1位の権利を与える。
2名のメダリストがいた場合は残り1名をスーパーファイナルで決定する
- (4) 補欠は次点者から順次繰り上げる。ただし1位の選手が2試合もしくは1試合の出場を辞退した場合、全員1試合のみ出場とする

7. 運営に関する事項について

- (1) AD (Accreditation) カードについて

本協会へ役員、指導者または選手登録を完了した方のみADカードは発行されます。

OADカードを発行致しますので、会場では必ず見える位置に着用をお願いします。

○各所属へのADカードの発行枚数と条件は、以下の通りといたします。

役職	配布枚数	備考
部長	1枚	男女の選手が出場のチームでも1名分とします。 会場練習時は競技エリアに入ることができます。 競技中は観客席での観戦となります。
監督	1枚	男女の選手が出場のチームの場合、合計で2名分発行します。 会場練習時は競技エリアに入ることができます。 競技中は競技エリア外（フェンスなどがある場合はフェンスの外側）まで入ることができます。
選手	チーム8枚	選手6名および補欠選手2名とします。
コーチ	4枚	競技中に競技場内に入れるコーチは2名とします。
トレーナー	1枚	男女の選手が出場のチームの場合、合計で2名分発行します。 競技中は競技エリア外で待機してください。 治療などを要する場合は競技エリア内に入ることができます。

(2) 大会保険ならびに大会期間中の怪我について

- ①本協会の費用負担にて、参加選手に対して大会期間中スポーツ傷害保険をかけます。
- ②発生した傷害の補償についてはスポーツ傷害保険の範囲とします。
- ③競技中の疾病、負傷に対する応急処置は主催者側で行いますが、その他の責任は負いません。
- ④大会参加者は健康保険証を持参してください。

(3) ドーピング検査について

- ①本大会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会となります。出場者は大会参加申込が完了した時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続きの対象となることに同意したものとみなします。また、18歳未満（大会時）である場合は、ドーピング検査を含むドーピング・コントロール手続きに対する親権者からの同意書を大会参加時に提出する必要があります。
- ②本大会出場者は、本大会において実施されるドーピング検査（尿・血液等検体の種類を問わず）を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるのでご留意下さい。
- ③血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技終了後2時間の安静が必要となりますのでご注意ください。
- ④日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、（公財）日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト(<http://www.playtruejapan.org>)で確認して下さい。また本大会はTUE事前申請が必要となる競技会として指定されております。TUE事前申請についてはJADAウェブサイト<http://www.realchampion.jp/process/tue>で確認して下さい。
- ⑤ドーピング・コントロールに関する同意書につきましては、18歳未満（大会時）の出場者は、JADAウェブサイト(<http://www.playtruejapan.org>)トップページ右上の「特設サイト/18歳未満の競技者への検査について」のページをご確認いただき、ドーピング・コントロールに関する同意書を、ダウンロードの上、必要事項を記載して郵送にて提出をお願いします。また、2015年4月以降に開催された本会主催の競技会（国民体育大会を除く）において提出していただいた同意書が、満18歳となるまで有効となります。すでに有効な同意書を提出済みの方で、内容に変更の必要がない方は、本大会においては再度の提出の必要はありません。

(4) 炭酸マグネシウムについて

主催者側で準備したものを使用してください。

各所属で持参した炭酸マグネシウムは、会場内に置くことはできません。

(5) 演技写真撮影およびSNSによる広報活動について

- ①本大会は記録のため写真および映像を撮影します。本協会が定める競技者規程第8条に従い、各選手の肖像利用に関しては大会参加申込みにより了解を得たものとします。また、出場選手の記録のため、本協会指定の写真販売業者が撮影した画像を出場選手とその関係者に限定して販売を行います。また、大会期間中、総務委員会へこの事業への不参加を申し出て、関係者を含め、一切の自身の演技写真掲載や利用を禁止することができます。
- ②所属あるいは選手自身の記録のための撮影を希望する方は、大会参加申込み時に申告し「撮影許可証」を取得してください。「撮影許可証」は1所属（男女別）につき3枚を上限として発行します。撮影の際は「撮影許可証」を必ず身につけて撮影してください。
- ③競技普及や体操への人気拡大を目的として、本協会が定めるソーシャルメディア運用管理規程にもとづく画像、映像の撮影やインタビューを依頼することがあります。撮影した画像、映像は協会ソーシャルメディア（公式HP、Twitter、Facebook、Instagram）に掲載致します。ご協力をお願いいたします。また、大会期間中、広報委員会へこの事業への不参加を申し出て、関係者を含め、一切の自身の演技写真掲載や利用を禁止することができます。

(6) 所属の車両乗り入れについて

- ①本大会は出場選手の輸送などを目的とした各所属の車両の乗り入れはできません。

体育館地下の有料駐車場を利用するか、城南立体駐車場（アリーナHPで案内）をご利用ください。

8. 参加申し込み

(1) 期 日 団体：平成30年10月19日(金)～10月25日(木)
男子スーパーファイナル 平成30年10月26(金)～11月7日(水)

(2) 申込方法

①大会申込を<http://jga-web.jp/>にて行います。

なお、参加申込終了後に棄権した場合でも参加料の返金は致しませんのでご了承ください。

(3) 参加料 団体1所属につき 30,000円

※JASRAC(日本音楽著作権協会)負担金 女子選手のみ1名につき500円

(団体は3名の演技となるので1所属1,500円)

男子スーパーファイナル 10,000円

(4) 同意書

18歳未満(大会時)の出場者は、JADAウェブサイト(<http://www.playtruejapan.org>)トップページ右上の「特設サイト/18歳未満の競技者への検査について」のページをご確認いただき、ドーピング・コントロールに関する同意書を、ダウンロードの上、必要事項を記載して郵送にて提出をお願いします。

(5) 連絡先 〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内

(公財)日本体操協会 TEL 03-3481-2341 FAX 03-3481-2344

「第72回全日本体操団体選手権大会 参加申込」係

9. 帯同審判員の派遣について

男女とも団体選手権に参加する所属は、1種審判資格を有する1名の審判員を派遣しなければなりません。派遣できない場合には、審判員委嘱費として50,000円を納入してください。

届け出期限 10月2日(火)

大会連絡先まで届け出てください。

10. その他

(1) 班編成の公開抽選会について

<日 時> 平成30年10月26日(金) 18:00～

<会 場> 岸記念体育館会議室 所在地：東京都渋谷区神南1-1-1

(2) 競技時程・会議時程等は、参加者及び関係者に追って連絡することとします。

(3) 上記出場資格以外の内容は変更の場合があります。